



7月ほけんだより

2025 年度
松葉保育園
看護師I

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。7月1日(火)からプール・水遊びが始まります。

子供の健康状態をよく見て、プール表・水遊び表に体温と、○または×(入るか入らないか)の記入をお願い致します。

少しでも体調が優れない場合は、無理をしないで×にしてください。

病気や怪我をしないで、楽しいプール、水遊びができるようにしましょう。



6月の感染症

水痘・・・1名(0歳児1名)

アデノウィルス・・・1名(2歳児1名)

溶連菌感染症・・・1名(4歳児1名)

突発性発疹・・・1名(4歳児1名)

7月の保健行事

2日(水) 身体測定

10日(木) 乳児健診(0歳児、6月の春の健康診断の日にお休みした園児)

屋外活動(プール・散歩等)における熱中症対策について

熱中症とは・・・体温が上がり、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温の調節機能が働かなくなったりして、体温の上昇やめまい、痙攣、頭痛などの様々な症状を起こす病気です。

暑さ指数とは・・・熱中症を予防する事を目的としてアメリカで提案された指標です。気温と同じ℃で表じられますが気温とは異なります。暑さ指数を使って、熱中症の予防をすることができます。

午前8時半に、園庭に設置している温湿度計で測定した気温・湿度による

気温が35℃以上、WBGT(暑さ指数)が31℃以上

の場合は屋外活動(プール・散歩等)は中止します。

※上限温度目安として、水温+気温⇒65℃以上の場合はプールは中止します。

※『熱中症予防情報サイト』を参考にしています。

「熱中症？」そのときに

子どもたちが大好きな夏ですが、熱中症には注意を。子どもに異変があったら、すぐに手当てをして重症化を防ぎましょう。



涼しい場所に移動する

風通しのよい日陰や涼しい室内に運んで寝かせ、服のボタンやベルトを外す。



体を冷やす

ぬらしたタオルで体をふき、うちわや扇風機の風を当てて体にこもった熱を逃がす。



水分を少しずつ与える

麦茶や子ども用のイオン飲料などをひと口ずつ与える。一度に飲ませず、様子を見ながら。

- 冷やしたタオル
- タオルに包んだ保冷剤
- 冷えた缶ジュースなどを挟んで冷やすと効果的



注意！！
39℃以上の発熱があり、ぐったりして意識がないときは救急車を呼びます

虫に刺されたら・・・とびひ(伝染性膿痂疹)に注意！

原因

虫刺され・あせも・湿疹などの掻き壊しにばい菌が入り、痒みの

強いジュクジュクや水ぶくれになります。

接触すると他のお子さんにもうつる事があります。



治療

早めの受診が大切です。



軟膏を塗るだけのこともあります。飲み薬の併用が必要な場合もあります。掻き壊さないためと、

他のお子さんへの感染予防のためにも、登園する時は患部をガーゼなどで保護しましょう。

予防

★虫よけ対策をする

・虫のいそうな所へ行くときは長袖長ズボン ・蚊取り線香や虫よけスプレーを使用

★虫刺され・あせも・湿疹・すり傷は掻きこわさない

・ガーゼや包帯などで保護し、掻きこわさないようにしましょう

★爪はいつも短く切りましょう。夏は新陳代謝がさかんなので、爪も早く伸びます

肌の弱いお子さん、以前とびひにかかったお子さんは特に注意しましょう。

とびひ(伝染性膿痂疹)は登園許可証が必要になります。